

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(6)-ア	地域特性に応じた生活基盤の整備	施策	② 安定した水資源の確保と上水道の整備
			施策の小項目名	○水源地域の環境保全の推進
主な取組	水源地域環境保全事業（やんばるの森・いのちの水事業）			
対応する主な課題	②ライフラインである上水道の整備については、安全な水道水を将来にわたって安定的に供給するため、今後の水需要や水質の安全性を確保するための施設整備や老朽化した施設の計画的な更新、耐震化を進める必要がある。また、小規模水道事業の運営基盤の強化や水道サービスの向上が求められている。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
森や水および水源地域に対する理解の促進と地域の振興を図るため、水源かん養機能の維持等に関する事業について助成制度を実施する。			6市町村 水源地域市町 村支援数			→
		水源かん養機能の維持に関する助成				
実施主体	県、市町村					
担当部課【連絡先】	企画部地域・離島課		【098-866-2370】			
			やんばるの環境保全、水源地域の振興に関する助成			

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR元年度：従来の水源かん養機能維持のための取り組みに加え、やんばるの環境保全対策や水源地域の振興策に対して助成を行う。	
水源地域環境保全事業（やんばるの森・いのちの水事業）									OR2年度：R元年度同様、水源かん養機能維持のための取り組み、やんばるの環境保全対策や水源地域の振興策に対して助成を行う。	
県単等	負担	—	4,910	4,895	4,983	14,903	15,000	県単等		
予算事業名							R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
—									OR元年度：—	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR2年度：—	
		—	—	—	—	—	—			

様式1(主な取組)

活動指標名	水源地域市町村支援数				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	6市町村	6市町村	6市町村	6市町村	6市町村	100.0%	14,903	順調	北部水源地域6市町村が、水源地域特有の行政需要への対応として実施している水源かん養の機能維持を目的とした施策、やんばるの環境保全対策、水源地域の振興策等、各分野の事業に対して、県が一部助成を行った。
活動指標名	—				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
	—	—	—	—	—	—				北部水源地域市町村(国頭村、大宜味村、東村、名護市、宜野座村、金武町)が実施する水源かん養の機能維持を目的とした施策、やんばるの環境保全対策、水源地域の振興策等への取り組みに対し、助成を行った。
活動指標名	—				R元年度					
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			これらの取り組みに対し県が一部助成を行うことで、沖縄本島の水の安定確保及び水質保全を図ることができた。
	—	—	—	—	—	—				
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和元年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き水源かん養機能維持のための取り組みを支援するとともに、やんばるの環境保全対策や水源地域の振興策に対しても支援を行う。 						<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度より、事業を拡充したことで、水源かん養機能維持の取組だけでなく、やんばるの環境保全対策、水源地域の振興について支援を行った。その結果、やんばるの環境保全対策においては、やんばるの森の自然環境が整えられ、よりやんばるの魅力を発信することができた。水源地域の振興策においては、地域のダムまつり等を実施したことで水源地域への理解促進と観光振興に寄与することができた。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・平成28年度より、水源かん養機能維持の取り組みに支援を行っているものの、将来にわたり、県全な水循環を維持するためには、長期的なスパンで当該取り組みを行う必要がある。

○外部環境の変化

・沖縄本島の水源は、主に北部のダム、河川水となっているが、水源地となっている北部地域は、人口減少による過疎化や高齢化が進行しており、十分な手入れが行われていない森林もあることから、水源地域の取り組みに依存した形での森林保全が難しくなりつつあり、将来的には、森林等の荒廃に伴う水源涵養機能の低下が懸念される。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・将来にわたり、健全な水循環を維持するためには、森林、河川等における水の貯留・涵養機能の維持を図る水源かん養機能の確保に加え、やんばるの環境保全対策や水源地域の振興に関する取り組みを強化する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・引き続き水源かん養機能維持のための取り組みを支援するとともに、やんばるの環境保全対策や水源地域の振興策に対しても支援を行う。